

広報

あいそめ

AISOME

第3号

平成23年1月



西都原古代生活体験館 絵画 本井睦英

自主

自分のものとして考える

自立

自分の力で育てる

共働

一緒になって働く

共助

お互いに助け合う



社団法人
西都市シルバー人材センター

〒881-0033 宮崎県西都市大字妻1621番地 (あいそめ館内)
電話 (0983) 43-0171 FAX (0983) 43-5801



新年のごあいさつ



理事長

丸山 美木生

新年にあたり会員のみなさま方におかれましては、平成二十三年の輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。

昨年は本市はもちろん宮崎県においてもかつてない口蹄疫という最大の災害に見舞われ大変な一年だったと思えます。

また、今後の農事情勢と共に、景気の低迷や先行き不透明な雇用問題、正に厳しい状況が続いております。

当センターにおいても、国からの補助金を含め公益法人への移行等、山積する課題を残しておりますが、会員の方々の就業機会の開拓、安全対策等を含め、積極的に取り組んで参りたいと考えている所です。そのためにも会員

のみなさま方のご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、みなさま始めご家族の方々及び社会全体が安全でより良き年でありますよう心よりご祈念申し上げます。



新春の初めに



安全委員長

甲斐 栄次

明けましておめでとうございます。二十三年は更に良い年でありますように。また、西都市シルバー人材センターの益々の発展を祈り安全就業につとめていきたいと思えます。

昨年は西都市シルバー人材センターの会員正岡五郎さんが安全標語作品最優秀賞に輝き、宮崎県シルバー人材センター連合会の表彰を受けました。「正しい知識と確かな動作あなたが守るみんなの安全」この標語を復唱し大事にしていきたいと思えます。

今年も安全就業標語作品に応募していただき、安全意識の向上に努めてほしいと思えます。安全委員会は安全就業宣言、安全就業決起大会、剪定作業、草刈り作業の講習会を実施して参ります。また傷害、損害等の事故が

多くありました。新年度を迎えるにあたり、安全就業パトロール、安全就業基準のチェックを強化して事故防止に繋がりたいと思えます。会員の皆さん一人ひとりが細かい注意をしていくことが大切ではないでしょうか。朝のミーティング、柔軟体操を行っていただきたいと思えます。

毎日のミーティング
みんなに広がる
明確な安全意識の向上

今日の体調は
良しと決まり
安心安全に就業

市長あいさつ

西都市長
橋田 和実飲酒運転に対する
行政処分について

日 高 敦

新年あけましておめでとう
ございます。

会員の皆様におかれましては、健やかに平成二十三年の初春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

みなさま方には、日頃からシルバー人材センター事業の充実・発展に格別のご理解・ご尽力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年本市は、「口蹄疫災害」に見舞われ、畜産農家の方々をはじめ、各産業に多大の被害を受けましたが、市民の一致団結したご協力のもとにどうにかこの難局を乗り越えることができました。

今後は、口蹄疫からの一日も早い復興を成し遂げていかなければならないと考えてお

ります。

さて、我が国の社会経済情勢は、景気低迷や雇用状況の悪化が継続しており、特に、高齢者を取り巻く雇用就業環境についてはより厳しいものとなっておりまして、このような不景気や少子高齢化が進む中で、シルバー人材センターにおかれましては、高齢者に多くの就業の機会を提供することにより、その豊富な知識や経験を生かし、福祉の増進と活力ある地域づくりを積極的に進めてこられました。まさに、シルバー人材センター事業は、高齢者雇用対策の大きな柱となっております。

本市は、高齢者の活発な社会参加と生きがいづくり・健康づくり対策の推進に努めて

おりますが、高齢者が生涯現役として多様な形で社会参加し、社会の担い手として活躍することを支援する本事業の役割はますます重要となつてきております。

現在、本市は、「自立、自助そして協働の理念」の精神のもとに、市民、団体、企業行政が力を結集して「自立した地域社会の実現」を目指す「協働のまちづくり」を進めております。今後ともみなさまのご協力を切にお願いいたします。

最後になりますが、西都市シルバー人材センターの益々のご発展とみなさまのご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

私は、交通安全児湯支部長をやっております。会員のみなさまに特別にお願いいたします。酒酔い運転をすると35点で一発で免許取消し、酒気帯び運転、呼吸中アルコール濃度0.25度以上の場合には25点で一発免許取消となります。夕暮時には早めの点灯「ピカピカ」運動をお願いします。

また、シルバー人材センターでは高齢者の生きがいを目的として剪定・草刈等の技術をしっかりと身に付けて、高い所上がる場合には安全ベルトを必ず付けて事故の無いよう注意しましょう。

私は一回梯子より落下して苦しんだ事がありますので、みなさま方も交通安全、機械を使う就業には特に注意して迷惑を掛けない様をお願い申し上げます。

年オトコ！年オンナ！！



年男！

日高 恒雄

① 少しでも体を動かすように散歩をします。食事も少なめと思えますが体重の変化はありません。

- 質問
- ① あなたの健康法は？
 - ② あなたの趣味又は得意なことは？
 - ③ シルバーセンターに希望することは？
 - ④ その他日頃のご意見をお聞かせください。

② 暇さえあれば魚釣りに行きます。大自然の中でぼんやりとする時間も大切ではないかと思えます。

③ 定年後に何もしない考えでしたが、空白の日々が続くときびしいものです。今後社会の一員として少しでも役立つことがあればと思っておりますのでよろしく願います。

④ 西都市の第一産業である農家の仕事に一人でも多くの会員の方が喜んで就業され、農家の方々にもシルバーセンターがあつて良かったと言

年女！

近藤 千代美

われる様なセンターになつてほしいと思います。

① 健康に立ち返る第一歩、それは早起きから新鮮な朝の空気を胸いっぱい吸い込もう！一日がリズム良く進む。

② 歌を聞くこと
毎日の洗濯

③ 仕事を何でもするのでお願いします。シルバー人材センターのおかげで健康です。

④ 私の生まれ年に気がついて、これを書きました。ありがとうございます。



会員のひろば

親睦旅行

旅行の感想

浅利 アキ子

楽しかった!!
楽しかった!!

シルバー人材センターに入会して13年近くになります。三回目の旅行でした。寒い二日間でしたが、道中いろいろな所を見物しました。

ホテルに着き、先ず嬉しかったのは、部屋割りでした。仲良し四人部屋でした。また宴会がものすごく盛り上がり、私も下手の横好きでカラオケや替え歌を何度も歌いました。みなさんの受けもよく本当に楽しい一夜でした。元気であれば来年もまたぜひ参加したいと思っております。

生きていくかぎりシルバー人材センターで働かせてもらおうと考えております。よろしくお願いたします。



両手に真心をそえて 後藤 ツネ

平成22年度も残すところ後わずかとなりました。来る年も健康で楽しい毎日である事を祈りながら新年を迎えましょう。

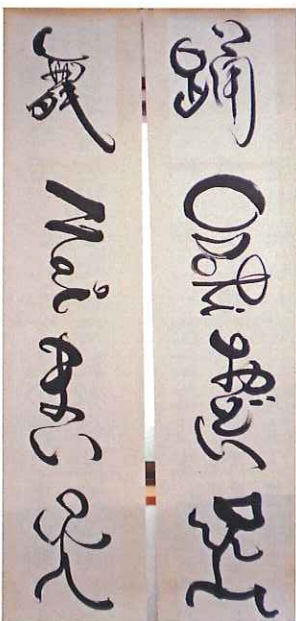
高齢になった今、仕事はもちろんの事、早い事は出来ませんが心をこめて動けばきっと報われると私は信じております。

シルバー人材センターに若い方達が入会されておられるようです。私は5月に在籍10周年の表彰を受けました。これからもまだまだ元気で仕事に励みたいと考えております。

昔の諺に「まずにつこり笑顔に勝る美人なし」と言われております。この事を胸におき、安全第一、健康に気をつけて頑張りましょう。シルバー人材センターの会員の名に心をくばりみんなで力を合わせてやりぬきましょう。

書道自由創作

中園 洋子



詩

初日の出に

身(健康)も心(幸せ)も

輝く一年でありますようにと

願いつつ手を合わす

吉本邦子

ひとり想う

待ちに待つ会員親睦旅行の楽しさよ

アトラクションが上手なり

歌に踊りにダンスもありて

笑いと拍手が鳴り止まないで

川崎幸子

今二人で生きている

某会員

人生の最終章を生きている今、「人に迷惑をかけないよう
に精一杯に生きて行こう。人として、人間として生きていく
には自分に厳しく人に優しく」。その事を頭に入れて毎日を
送っている。

私達夫婦はお互いに様子をしながら今日は元気だなとか元
気がないなとか思いながら自分なりに判断してその日を過ご
している。



短歌

主人は鹿児島出身で、とにかく人の言う事を聞く人ではあ
りません。自分が言い出した事は絶対に間違っていないと思
う人なのです。

私達は再婚同士で19年前に一緒になりました。自分の言い
分は必ず通す人ですが、私に対してはとても優しくしてくれ
ます。人間として信頼出来る人だと私なりに思っています。
後残された人生を精一杯にお互いを励まし合って生きていこ
うと思っております。

51歳で一緒になりましたが、私の人生にとって良かったな
と思えます。ありがたい事です。人をうらやんだりすること
無く自分達の生活を大事にしていきたいと思っております。

川崎幸子

☆ つつがなく通れるこの坂感謝して

足早に行く現場の仕事へ

☆ さこ田んぼ雑草切り終え小豆蔕く

天高くおいしい豆がゆらゆらとなり

島田喜一

☆ 今日ありて明日があるぞと思ふなよ

一寸先とて闇の世の中



俳句

黒木 ミヨ子

☆ 秋空よ 変えてこの年 バラ色に

島田 喜一

☆ 新年や 雲の切れ間に 初日の出

☆ 齢の差を 感じさせない 夫婦仲

吉本 邦子

☆ 福来る 新春の友の 笑顔かな

中園 洋子

☆ 冬日向 聞こえぬふりも 年のせい

☆ 働けど 楽はなし 勤労感謝の日

川柳

島田 喜一

☆ 一夜明け昨夜が去年に早がわり

中園 洋子

☆ 肝っ玉ふといふりしてサイフ空

ひつらひつら



原田 律子

☆ シルバーの仕事終えて帰途につく

元気に今日も風呂暖まる

☆ 腰痛く治療に行けば友に会う

今は懐かし仕事の話

☆ 一年の早さよ年もすぐ去りて

町はあざやかイルミネーション

☆ 師走でも急ぐことなく毎日を

過ぎす部屋にはシクラメン

☆ 年重ね先みじかさをしみじみと

思いて秋は暮れるかな

楽しいお付き合いを

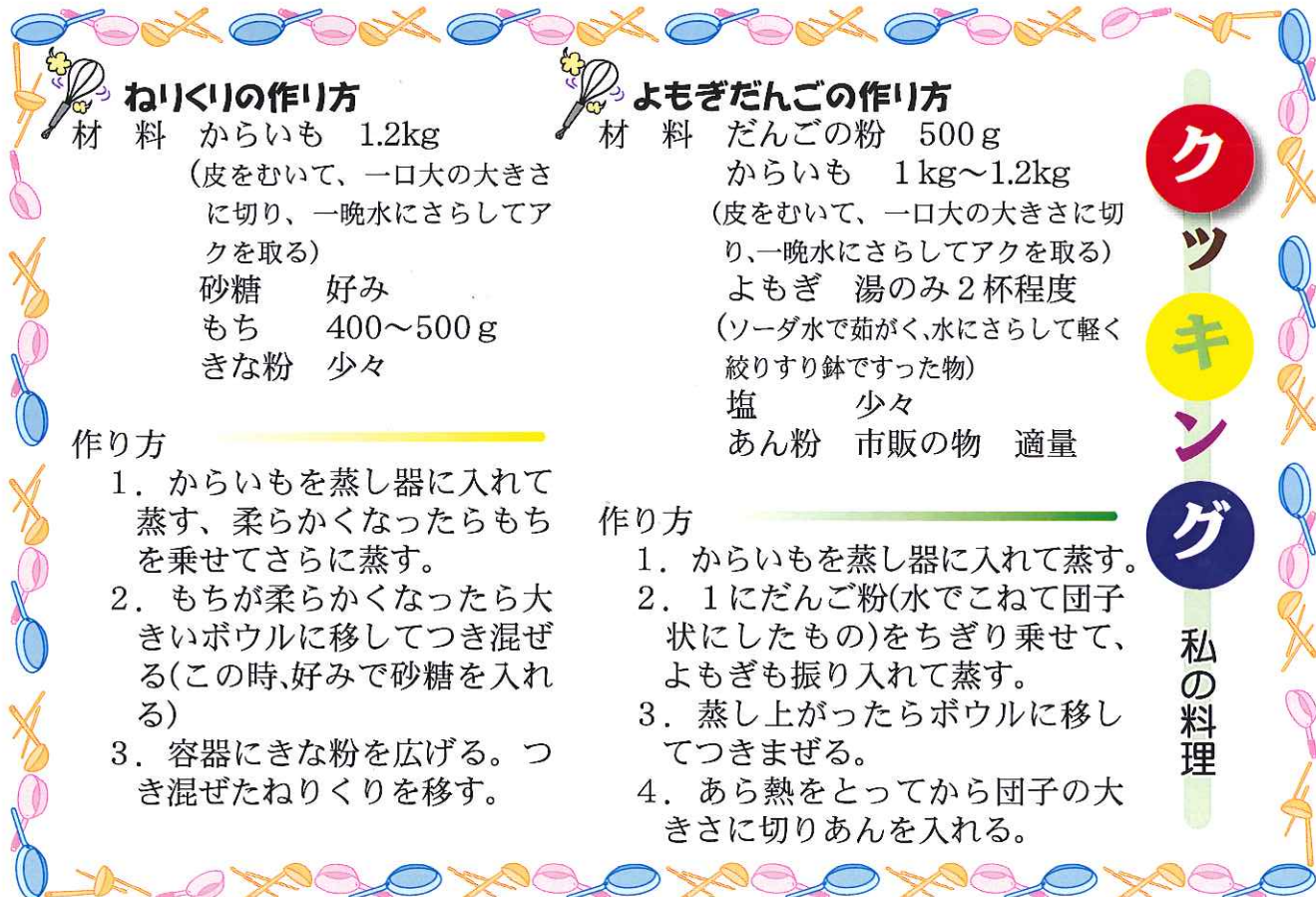
吉名 功

西都市へ移住して来て早五年になります。いつの間になに時がたったかと思いを静かに考えていることがあります。東京に居る時は静かで気持ちの落ち着く場所を求めていることがいつもありました。よく考えて見ると今は一人ぼっちで誰かお話相手がほしくて淋しい思いをしている時があります。

そんな時、シルバー人材センターからご連絡をいただき気持ちが晴々として勇気づけられます。

今までの自分では考えられなかった世界がしっかりと自覚出来ます。これからの西都での生活をより楽しくいつまでも続けて行くことが出来るようしっかりとお付き合いをしたいと思えます。

特に、みなさまとお会いできる会合については、楽しみにしてお待ちしておりますのでよろしくお願い申し上げます。首を長くしてお待ちします。



ねりくりの作り方

材料 からいも 1.2kg
 (皮をむいて、一口大の大きさに切り、一晩水にさらしてアクを取る)
 砂糖 好み
 もち 400~500g
 きな粉 少々

作り方

1. からいもを蒸し器に入れて蒸す、柔らかくなったらもちを乗せてさらに蒸す。
2. もちが柔らかくなったら大きいボウルに移してつき混ぜる(この時、好みに砂糖を入れる)
3. 容器にきな粉を広げる。つき混ぜたねりくりを移す。

よもぎだんごの作り方

材料 だんごの粉 500g
 からいも 1kg~1.2kg
 (皮をむいて、一口大の大きさに切り、一晩水にさらしてアクを取る)
 よもぎ 湯のみ2杯程度
 (ソーダ水で茹がく、水にさらして軽く絞ります)
 塩 少々
 あん粉 市販の物 適量

作り方

1. からいもを蒸し器に入れて蒸す。
2. 1にだんご粉(水でこねて団子状にしたもの)をちぎり乗せて、よもぎも振り入れて蒸す。
3. 蒸し上がったらボウルに移してつきまぜる。
4. あら熱をとってから団子の大きさに切りあんを入れる。

ク
ツ
キ
ン
グ

私の料理

会員の就業適正基準

(目的)

第1条 この基準は、社団法人西都市シルバー人材センター（以下「センター」という。）の会員の適正就業に関する基準を定め、よって会員の就業機会の公平を目的とする。

(適用業務)

第2条 主な適用業務は、市などからの委託の仕事や民間からの仕事で、長期継続的な仕事とする。

(就業年限)

第3条 会員が、同一発注者、同一就業内容で年間を通し継続して就業できる期間は、発注者との契約に基づき、一年を原則とする。

2 発注者から契約更新があり他の会員に適格者がなく、当該会員の就業実績が良好な場合は、理事会の承認を得て、5年を限度に更新することができる。

3 ただし、特殊事情等で会員の確保が困難な場合はこの限りではない。前項の適用となる会員が多い場合は、就業期間の長い順に交代することとし、就業期間が同一の場合は、年齢の高い会員からとする。

4 ただし、発注者と協議し、作業に支障のない範囲で調整する。就業期間の起算は、当年度4月1日以降の就業開始月日に関係なく3月31日をもって一年とする。

5 就業期間に該当する会員に対して、就業期限確認書（別表様式第1号を交付し、承諾書（別表様式第1号）を徴する。

(その他)

第4条 この基準に関する諸問題等については、就業等適正資格審査会とも協議し対処する。

付則

(施行期日)

1 この基準は、平成22年3月18日に制定し、平成22年4月1日から施行する。

会員の就業適正基準

附則

(既就業者に関する適用期日の経過措置) 第1項 下表

順位	通算就業年数	就業期限(年月日)
1	就業後 6年以上	平成23年3月31日
2	就業後 4年以上～6年未満	平成24年3月31日
3	就業後 2年以上～4年未満	平成25年3月31日
4	就業後 1年以上～2年未満	平成26年3月31日
5	就業後 1年未満	平成27年3月31日



第29回通常通常総会 総会報告

日時 平成22年7月30日(金) 10時開会
会場 西都市老人健康センター

平成22年度、第29回通常総会が去る7月30日(金)に西都市老人健康センターに於いて、会員数233名中(平成22年7月30日現在)のうち194名(うち、委任状71名)が出席して開催されました。

中園洋子副理事長が開会を宣言し、丸山理事長の挨拶のあと会員在籍10周年表彰が8名あり、続いて来賓(橋田和実西都市長、黒木正善西都市議会議長、浜砂守県議会議員、押川修一郎県議会議員)の祝辞がありました。

次に議事に入り、まず議長に荒谷功氏を選出し、次の議案について審議が行われました。

- 1 平成21年度事業報告
- 2 平成21年度収支決算報告(監査報告)
- 3 平成22年度補正予算(案)
- 4 社団法人西都市シルバー人材センターの公益社団法人移行(案)について
- 5 役員の選任について

事務局よりそれぞれ議案について提案説明があり、原案どおりに承認され11時30分にすべての行事が終了しました。

あとがき

新年のお慶びを申し上げます。今年も「健康」で「安全」な就業が出来ますようお願ひ申し上げます。

ところで、みなさんがシルバー人材センターに入会される時「入会申込兼会員票」を提出されたと思います。その用紙には入会の動機の欄があります。①社会的②健康的③経済的④その他 のいずれかに○で囲むようになっていきます。覚えていきますか。

私は①社会的に○をしました。退職してさて何をしたらよいものかと思っていた時、当センターでパソコン講座を受講したり、ホームヘルパー2級資格を取得したりしました。その直後病気になり、折角習ったパソコンもすっかり忘れてしまいました。ホームヘルパーの仕事は何とか頑張りましたが続きませんでした。

現在は、理事をさせていただき広報委員会の活動をしています。いつもみなさんの原稿を読み、感動と感謝の気持ちで楽しく会員のひとりとして仕事をしています。

ここで提案ですがよりよい広報活動をしていく為、①みなさんの仕事場に行き対話したり、写真を撮ったりして取材活動をしたい。②趣味や特技等を入会時に「入会申込書」に書き込んでいただきたい。この2件を考えています。いかがでしょうか。ご検討をお願いいたします。

年2回「安全だより」と「あいそめ」を発行しています。ご愛読よろしくお願ひいたします。

広報委員

中園 洋子
橋口 邦子

